

SNS型投資・ロマンス詐欺対策ニュース

令和7年7月

警察本部生活安全企画課

注意!

SNS型ロマンス詐欺が多発しています!

1 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知状況（6月末）

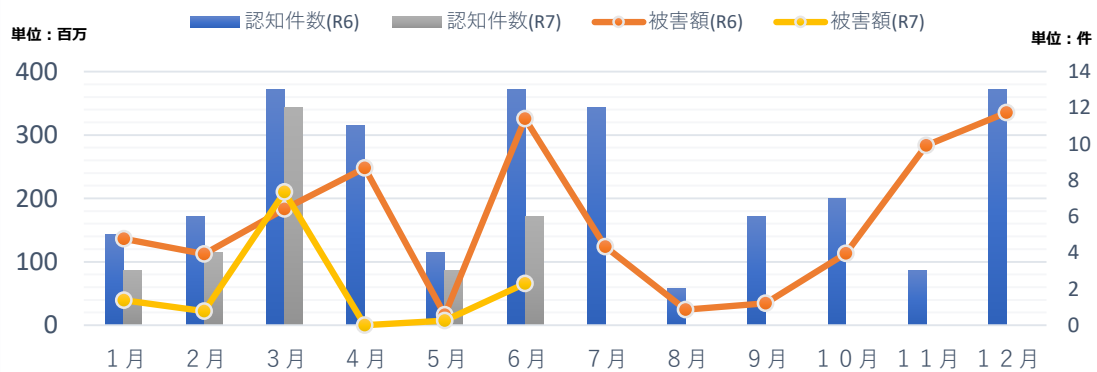
種別	認知件数	被害額
<u>SNS型投資詐欺</u>	28件	約3億4,400万円
<u>SNS型ロマンス詐欺</u>	43件	約5億3,000万円
合計	71件	約8億7,400万円

※ SNS型投資詐欺～SNS等を通じて、投資名目で金銭等をだまし取るもの。

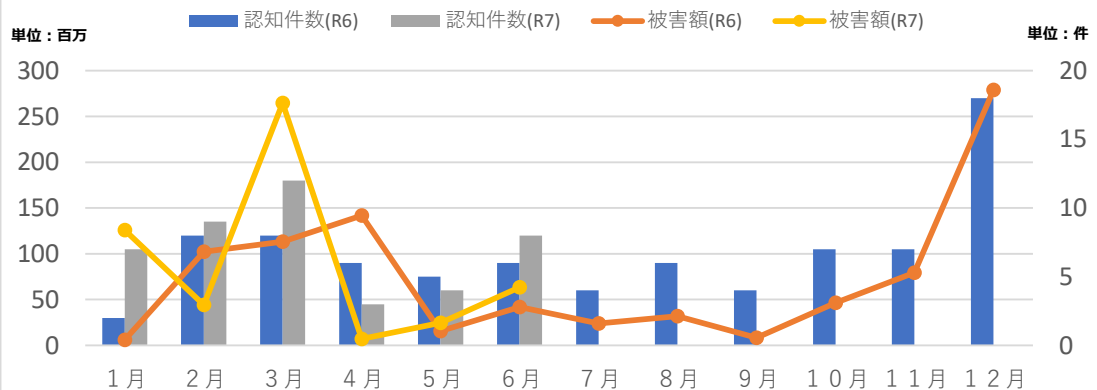
SNS型ロマンス詐欺～SNS等を通じて、恋愛感情や親近感を抱かせて金銭等をだまし取るもの。

2 被害発生状況の推移

SNS型投資詐欺



SNS型ロマンス詐欺



3 R7. 6月中に認知した主な事件

(1) SNS型投資詐欺

被害者（旭川市、40歳代男性）は、SNSを通じて知り合った外国人女性を名のる者から暗号資産による投資を誘われ、投資名目で購入した暗号資産を、複数回にわたり、犯人から指定された暗号資産アドレスに送金し、総額2,400万円分をだまし取られた。

(2) SNS型ロマンス詐欺

被害者（函館市、60歳代女性）はマッチングサイトで知り合った貿易会社勤務を名のる男にSNSでのやり取りに誘導され、将来の交際のための費用として暗号資産投資を持ちかけられて暗号資産を購入し、犯人から指定された暗号資産アドレスに8回にわたり暗号資産を送金し、合計3,450万円分をだまし取られた。

4 被害防止のポイント

- (1) ネットやSNSには、投資に関する詐欺動画や詐欺広告が多数存在します。

投資詐欺は、そのような広告を端緒に、LINE、Facebook、Instagram、Xなどの各種SNS、マッチングアプリなどで知り合った者からLINEなどのSNSグループチャットに招待されます。

SNSには、投資関連の詐欺グループチャットが多数存在しますので、見知らぬ者から投資を勧められた際には詐欺の可能性が高いです。

- (2) 被害に遭っている方のうち、複数回の振込みでは、**毎回違う口座（個人名義や法人名義）**を犯人から指定されています。
- (3) 投資で絶対に儲かるなどの**うまい話はありません。**

(4) 被害防止対策

- ① **振込先に個人名義の口座を指定されたときには詐欺の可能性が高いです。また、法人名義の口座についても、当該法人が金融庁の登録業者であるか否かを確認しましょう！**
- ② **SNSやウェブサイト上で知り合った者から投資を勧められた場合は、必ず最寄りの警察又は#9110に相談してください！**

特殊詐欺対策ニュース

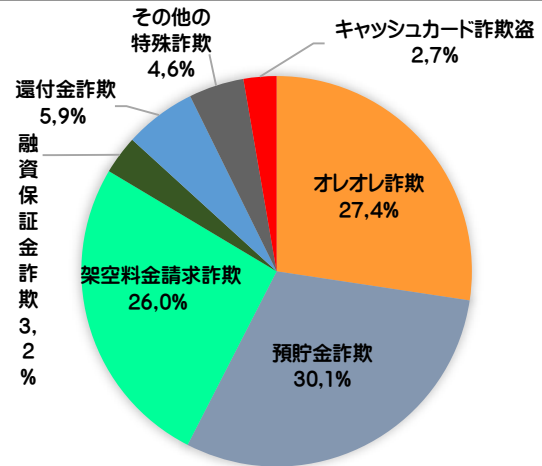
令和 7 年 7 月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和7年6月末）※暫定値

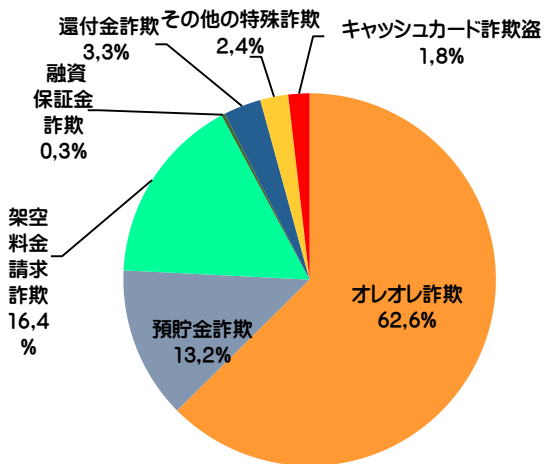
1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況

		認知件数	被害額
特殊詐欺合計	R7	219	652,088,165
	R6	58	193,267,592
	増減数	161	458,820,573
オレオレ詐欺	R7	60	408,074,262
	R6	9	89,469,600
	増減数	51	318,604,662
預貯金詐欺	R7	66	86,168,000
	R6	2	249,000
	増減数	64	85,919,000
架空料金請求詐欺	R7	57	106,774,326
	R6	26	68,379,000
	増減数	31	38,395,326
融資保証金詐欺	R7	7	2,029,026
	R6	3	1,151,264
	増減数	4	877,762
還付金詐欺	R7	13	21,245,397
	R6	7	14,500,216
	増減数	6	6,745,181
金融商品詐欺	R7	0	0
	R6	1	4,999,000
	増減数	-1	-4,999,000
ギャンブル詐欺	R7	0	0
	R6	0	0
	増減数	0	0
交際あっせん詐欺	R7	0	0
	R6	0	0
	増減数	0	0
その他の特殊詐欺	R7	10	15,898,154
	R6	10	14,519,512
	増減数	0	1,378,642
キャッシュカード詐欺盗	R7	6	11,899,000
	R6	0	0
	増減数	6	11,899,000

【認知件数の比率】



【被害額の比率】



2 6月中に認知した主な事件

(1) 防犯協会職員を名乗るオレオレ詐欺

被害者（胆振総合振興局管内居住、70歳代女性）の自宅固定電話に、防犯協会職員を名乗る男から「防犯協会の会員名簿にあなたの名前がある。」「会員名簿の登録番号を伝える。」「番号は誰にも教えてはいけない。」などと電話があり、その後、防犯協会職員と名乗る男から電話で登録番号を聞かれたため答えたところ、金融庁職員を名乗る男から電話があり、「登録番号を教えたことは詐欺になり逮捕される。」「逮捕を免れたければ保釈保証金として資産の89%を支払う必要がある。」等と言われ、犯人から指定された住所に、現金合計4,500万円を4回に分けて発送しだまし取られた。

(2) 金地金をだまし取るオレオレ詐欺

被害者（札幌市中央区内居住、70歳代女性）の携帯電話に、通信会社職員を名乗る女から「スマホが不正契約されています。警察から連絡があります。」などと電話があり、その後、警察官や検事を名乗る男から「あなたはこのままでは逮捕されます。あなたの全財産を調べなければなりません。」等と電話があり、被害者宅に訪れた犯人に、現金1,700万円及び金2.5キログラム（時価約4,220万円）を手渡しだまし取られた。

○令和7年6月末における特殊詐欺の認知件数は219件（R6年6月末:58件）で前年に比べ161件増加し、被害金額は約6億5,200万円（R6年6月末:約1億9,300万円）で前年に比べ約4億5,900万円増加しました。

○特殊詐欺被害者の年齢層は、高齢者（65歳以上）の割合が約63.9%（令和6年:約40.4%、令和5年:約80.9%）となっており、昨年と比較し、高齢者の方の被害が多い傾向にあります。

○依然として「ニセ警察詐欺」による被害が多発しています。上記事例のとおり、現金を宅配便で指定した住所地へ送付させるものや、購入を指示した「金地金」を自宅まで受け取りに来た上でだまし取るものなど、様々な手口による被害が確認されています。北海道警察ホームページ・北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」・各種報道などから、特殊詐欺の手口や対策について情報を得ていただくとともに、警察官を名乗る者から電話でお金を要求されたり、SNSで連絡を取るよう言われたときは詐欺ですので、すぐに電話を切って最寄りの警察署又は＃9110に相談してください。